

第18回

静岡歴史教育研究会



文化史と歴史教育

—日本文化史を中心に—

報告者:

戸川 点(拓殖大学国際学部)

日本史教育から見た文化史

村松輝久(静岡県立浜松北高校)

世界史教育から見た文化史

コメント:松井秀明(静岡県立浜松西高校)

司会:戸部 健・岩井 淳(静岡大学人文社会科学部)

今回は、「文化史と歴史教育」という共通テーマを掲げ、現在、大学と高校で教鞭をとっているお二人の先生をお招きし、歴史教育の観点から文化史の学び方・教え方を論じていただきます。報告者のお一人は日本古代史を専攻する戸川点先生で、専門のご研究を深めると同時に、高校教員のご経験もあり、高大連携に積極的に関わっていらっしゃいます。もう一人は、長らく静岡県で世界史教員として活躍され、現在は浜松北高校で教壇に立つ村松輝久先生です。

お二人のご報告後に、『エピソードで語る日本文化史』上・下(地歴社、2006年)の著者である松井秀明先生からコメントをいただき、日本文化史の学び方・教え方について深めます。さらにフロアーから、大学での日本史・世界史の文化史研究について発言をいただく予定になっています。

みなさん、ふるってご参加ください。

日時:2019年12月14日(土)14:00~18:00

会場:静岡大学人文社会科学部A棟6F大会議室

http://www.shizuoka.ac.jp/access/map_shizuoka.html

入 場:無 料

主 催:静岡大学人文社会科学部学部長裁量経費「歴史教育の地域的基盤を構築する教材・教授方法の探究と高大連携の発展」、静岡歴史教育研究会

問合せ先:岩井 淳(静岡大学人文社会科学部) YQS02036@nifty.com

午後7時から静岡駅近くで懇親会を開催。参加希望の方は岩井まで連絡を